

2023年12月期第3四半期決算発表に関して、株主・投資家の皆様から頂戴した主なご質問内容をまとめました。決算短信及び決算補足資料と併せてご覧ください。

1. 業績見通し

- Q1 : 2023年12月期通期の当期純利益見通し3,400億円とのことであるが、**昨年通期の4,610億円と比べて減益となる背景は？**
為替は前年同期比円安であるが、油価が下落したことに加え、後述のプレリユードの減損等もあり、前年同期比で減益となっている。しかしながら、当期純利益3,400億円が実現された場合、これは昨年度に次ぎ、過去2番目に高い水準である。

2. PBR

- Q1 : **足元のPBRと株価についてどのように考えているか。**
2023年12月期第2四半期の決算発表の際に「企業価値の持続的向上に向けて」を公表した。その後、株価とPBRは上昇傾向にあり、年初の株価は1,300円台、PBRも0.5倍前後であったが、公表後の9月末時点で株価は2,256円、PBRは0.7倍前後まで改善している。今後も前述の「企業価値の持続的向上に向けて」にて明示した通り、「資本効率の向上」、「市場の信認を得るための具体的な取り組み」、「株主還元・投資家との対話の強化」の3つの取り組みを一体的に進めることで、PBR及び企業価値の向上を図る。
- Q2 : **PBR開示の次回進捗報告時期は？**
東証からの要請にもある通り、毎年1回、進捗状況に関する分析を行っていく。

3. イクシス

- Q1 : **イクシスの利益貢献はどの程度か？**
順調な生産状況を反映し、2023年12月期第3四半期累計で、セグメント利益2,290億円、通期見通しでは約2,900億円半ばとなる見込み。
- Q2 : **第3四半期のカーゴ数を教えて欲しい。**

	7月	8月	9月
LNG	9	11	11
陸コンデンセート	2	2	2
海コンデンセート	2	2	3
LPG	2	3	3

4. アバディ

Q1 : プロジェクトの進捗状況と今後の見通しは？

新たにパートナーとなった Pertamina 及び Petronas と緊密に連携・協力しながら今後現地での各種作業等をはじめ順次再開し、基本設計作業（FEED）を進めていく予定。また、FEED と並行してマーケティングやファイナンスなどその他必要な準備作業を進めていく。そのうえで各種投資要件を精査し、早期の最終投資決定、生産開始を目標としてプロジェクトを進めていく。

5. プレリウド

Q1 : プレリウドで減損損失を計上した背景は？

豪州当局による PRRT の改定、環境保全政策となる Safeguard Mechanism の改定等、事業に影響のある変更が実施されたことを受け、当社において独自に投資計画の見直しを行った。その結果、当社生産量の見通しを下方修正することとなった。加えて、金利上昇を背景とした回収可能価額を算定するための割引率も上昇している。これらの外部環境等の変更に伴い、回収可能価額が低下したことから減損損失の計上に至った。

6. その他

Q1 : 2023 年 12 月期において追加還元の予定はあるのか

追加還元に関しては、2023 年 12 月期第 4 四半期の業績等を踏まえ検討する。

以上

注意事項：

本書に記載される情報は、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

本書に掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。